



伊勢乃国 松阪靈地

開運  
招福



# 七福神 のご案内

江戸時代頃に成立した七福神めぐりには、七福神を参拝することにより、不老長寿、商売繁盛、五穀豊穡、家内安全など所願成就のご利益があるとされています。

伊勢神宮のお膝もと伊勢乃国の松阪靈地では、歴史深い寺社が七福神をお祀りしております。

この松阪靈地七福神を一心にご信心いただき巡拝され、またそれぞれいわれの深い寺社の本堂・本殿もご参拝いただければ、開運招福もさらに倍増いたします。

## 布袋尊【ほていそん】

梅松山管相寺  
松阪天神

### ◆福德円満和合の神

#### 宝剣が現れた天神さまの寺

梅や松の生い茂る天神之森と呼ばれた地に一大音響と共に宝剣が出土し、その剣に触れた者が「我そこは天満天神である。夢おろそかにするなかれ。」とお告げを受けました。紀州公も同様のお告げを受けた事から天神さまを祀ったのがこの寺の由縁です。

境内には松阪市指定有形文化財「天神森之碑」が本居宣長の撰文と賀茂真淵門人橋千蔭の揮毫により刻まれています。

布袋尊は中国の伝説の僧を神格化したとも弥勒菩薩の化身とも言われ信じるものに知恵と福德を授けると言われます。

当寺に祀る台湾からやって来た布袋尊は一本の巨木からなり、立ち上がり天を仰ぐ姿は最大級です。

〈ご真言〉 オン マイタレイヤ ソワカ



●所在地：松阪市愛宕町2-63  
●お問い合わせ先 ☎0598-21-0080

## 恵比寿【えびす】

みくりや じんじや  
御厨神社

### ◆福をまねく平和の象徴

大化二年(646)頃、神宮の御厨所として平生に創建されたと伝えられますが、天正年間蒲生氏郷松阪開府に伴い通本町に遷宮されました。元和五年(1619)には、松阪城の鬼門(北東)の方角に当る当地に遷され、城の守護神としました。

本殿の主祭神は、スサノオの大神の荒御魂で、豪商マルサン長谷川家のエビス様もお祀りされています。

また、本殿横には、東京向島の三囲神社の分社といわれる三囲稲荷が、豪商三井家屋敷より三度めぐって鎮座されています。

更に、井村屋ゆかりの高春稲荷には、松阪三井家12代目当主三井高周氏奉納の祠にもエビス様が祀っております。

〈ご真言〉 エビス オオカミマモリタマエ サキハエタマエ



●所在地：松阪市本町2304  
●お問い合わせ先 ☎0598-21-4483

※不在の場合は松阪駅観光情報センター☎0598-23-7771

## 福祿寿【ふくろくじゅ】

ふくげんじ  
平田山 福源寺

### ◆福德長寿の神

当山は、天文二年丹崖旭齋大和尚により、黒田平田(現松阪市黒田町)に福源庵と称して虚空蔵菩薩をお祀りしたのが最初で、当時「黒田の虚空蔵さん」として地域の信者たちに信仰され、その後本堂他、伽藍等を建立し曹洞宗の寺院と成り、現在に至ります。

福祿寿は中国の福寿の神で、幸福、封祿(財産)、長寿の三種の願い(三徳)を具現化したお姿をされた福德長寿の神であります。本堂向かい側の金毘羅堂内に豊川稲荷大明神、金毘羅大権現と共に安置され、福德長寿を願う檀信徒の方々はもとより、毎日多くの福祿寿の信者達が参拝に訪れております。

〈ご真言〉 オン マカシリ ソワカ



●所在地：松阪市黒田町1635  
●お問い合わせ先 ☎0598-21-7389

## 大黒天【だいこくてん】

らいこうじ  
教主山 来迎寺

### ◆経営・経済の守護神を祀る 松阪商人ゆかりの古刹

伊勢国司、北畠氏創建の当山は、豪商三井家の菩提寺として知られ、また江戸初期に朱印船による安南貿易で活躍した角屋一族の墓所もあることから、開運と事業の成功を祈る人々が多く参拝されます。

阿弥陀如来を祀る本堂は、国指定の重要文化財です。

毎月三日に護摩祈禱が行われる、元三大師堂の脇佛として祀られている大黒様は、三面六臂の尊容です。

皆様に馴染み深いお姿とはかなり異なりますが、これは平安時代、比叡山に出現した伝説に由来するもので、豊臣秀吉公が崇敬されて以降、「出世大黒」とも呼ばれるお姿のご分身なのです。

〈ご真言〉 オン マカキヤラヤ ソワカ



●所在地：松阪市白粉町512  
●お問い合わせ先 ☎0598-21-2131(代)

## 弁財天【べんざいてん】

ちやうでんじ  
光福山 朝田寺

### ◆音楽・芸術・学問と財福を司る辨天様 平安前期の地蔵と蕭白の寺

盛夏の頃、山門左手の池(弁天池)一面に、ピンクの蓮が咲き誇ります。この池の中ノ島の小堂に弁財天が祭られています。弁財天は七福神の中の紅一点、芸術のみならず財福まで願いが叶うとされます。

本尊の地蔵菩薩(国指定重文)は、故人を極楽浄土へ導く仏として信仰篤く、この地方では、葬儀の後『道明供養』と称し、故人の衣類(掛衣)を持って、お参りする風習が続いています。

重要文化財四点を含む菅我蕭白筆の水墨画(江戸時代)が、毎年4月20日～5月5日の間、公開されます。4月下旬の牡丹、初夏の紫陽花、盛夏の蓮(朝田寺紅蓮)など、花の寺としても楽しめます。

〈ご真言〉 オン ソラソバテイエイ ソワカ



●所在地：松阪市朝田町427  
●お問い合わせ先 ☎0598-51-8661

## 毘沙門天【びしゃもんてん】

りゅうせんじ  
愛宕山 龍泉寺

### ◆守護と財宝の神 七難即滅・七福即生

昔より「お伊勢へ七度 熊野へ三度 愛宕へは月参り」とうたわれておりますように、それほど愛宕さんを身近に感じ、日々の信心を集め、暮らしの中に浸透して参りました。

当山も火防の靈神「愛宕大権現」と御分身の敬愛慈悲佛「愛染明王」をお祀りする寺院で、地域の人々から「あたごさん」と呼ばれ、火の神さまとして、「火渡り」や「愛宕市」とともによく親しまれています。

その愛宕大権現の眷属の一尊で、愛宕大権現と同じく甲冑を着けた尊像が、毘沙門天です。

そのお力は、心には勇気と決断、暮らしには財産、この物心両面の福を授けてくださいます。

〈ご真言〉 オン ベイシラマンダヤ ソワカ



●所在地：松阪市愛宕町1-4  
●お問い合わせ先 ☎0598-21-2931

## 寿老神【じゅうろうじん】

あさか じんじや  
阿射加神社

### ◆不老長寿と厄除け開運

猿田彦大神が阿邪訶の海でおかくれになったとき、三つの御魂が現れた事が古事記に記されています。その御魂をお祀りする阿射加神社は第11代垂仁天皇の命により創建されました。天孫降臨の際瓊瓊杵尊の道案内をされた猿田彦大神をお祀りする最も由緒ある神社であります。猿田彦大神御事績から明らかのように道案内の神つまり地鎮の神であると共に、現在では交通安全の神として敬い奉られています。毎年1月中旬土曜日には寿老神の御利益にあやかり不老長寿家内安全を祈願した摂社例祭、夜はどんど火無形文化財のかんこ踊り、御火試し粥試し神事と厄除け祈願等が行われます。

また、神社社叢は松阪市の天然記念物に指定されています。

〈ご真言〉 ハライタマエキヨメタマエ



●所在地：松阪市小阿坂町120

※不在の場合は松阪駅観光情報センター☎0598-23-7771